



セブン&アイ・ホールディングス「なでしこ銘柄2017」に選定

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（東京都千代田区、代表取締役社長：井阪 隆一）は、経済産業省と東京証券取引所が共同で3月23日（木）に発表した「なでしこ銘柄2017」に選定されました。

「なでしこ銘柄」は、東京証券取引所一部、二部、マザーズ、JASDAQ に上場している約3,500社を調査対象とし、業種ごとに、女性の活躍推進に優れた企業を選定する取組みで、今年度で5度目となります。

当社は、かねてより強いトップコミットメントのもと、女性社員の育成や、社員のあらゆる層の意識改革に取り組み、女性の活躍と「ワークライフ・シナジー」の実現を、グループで積極的に推進してまいりました。今回の選定を通過点とし、今後も取組みを継続してまいります。

＜ セブン&アイ・ホールディングスと主要事業会社の取組みについて ＞

【女性活躍推進に向けた取組みの歴史】

| | | |
|-------|----------------------------------|------------------------|
| 1993年 | 初の女性取締役誕生 | セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂 |
| 1997年 | 大手百貨店初の女性店長誕生 | そごう・西武 |
| 1998年 | パート社員出身の女性役員誕生 | セブン&アイ・フードシステムズ |
| 2012年 | ダイバーシティ推進プロジェクト発足 | セブン&アイ・ホールディングス |
| 2013年 | 事業会社にもダイバーシティ推進組織が発足 | セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂他 |
| 2015年 | 「女性が輝く先進企業表彰」にて 『内閣総理大臣表彰』を受賞 | セブン&アイ・ホールディングス |
| 2015年 | 東京証券取引所「企業行動表彰」を受賞 | セブン&アイ・ホールディングス |
| 2016年 | 女性管理職比率30%（係長級）達成 | セブン&アイグループ主要8社合計※ |

2020年 女性管理職比率30%（係長級・課長級）目標 セブン&アイグループ主要8社合計※

※主要8社：セブン&アイ・ホールディングス、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、そごう・西武、ヨークベニマル、セブン&アイフードシステムズ、セブン銀行、赤ちゃん本舗

【取組みの一例】

◆「スポット保育」の試験運用

（セブン-イレブン・ジャパン）

2016年10月より、祝日や年末における両立支援のひとつとして、社内託児「スポット保育」の試験運用を開始。全5日程で111名の社員（うち26%が男性社員）が利用した。



◆ダイバーシティ・マネジメントセミナー

（セブン&アイグループ）

2014年6月より、管理職の意識改革を目的としたセミナーを実施。多様な人材を活かし、成果を出せる管理職の育成の場として、これまでに11回実施、延べ3,000人以上が参加した。



◆当社のダイバーシティ推進の詳細については、ホームページをご覧ください。

「女性の活躍による企業競争力の強化」 <http://www.7andi.com/csr/theme/theme4/humanresource.html>

★「なでしこ銘柄」とは

2012年度より、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施している、「女性活躍推進」に優れた企業を選定・発表する事業。「女性活躍推進」に関するスコアリング基準に従って評価を行い、さらに財務指標によるスクリーニングを実施した上で選定される。

「女性活躍推進」に優れた上場企業を「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することを通じ、企業への投資を促進し、各社の取組みを加速化していくことを狙いとしている。

以上